

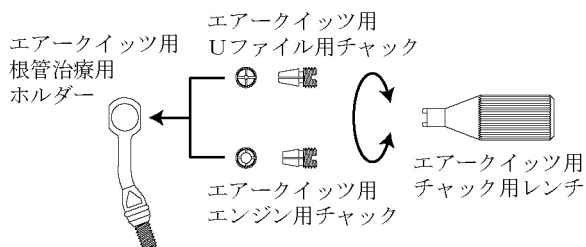
「エアーキッツ」の付属品 エアーキッツ用根管治療用ホルダー

【形状・構造及び原理等】

体に接触する部分の組成

- ・ステンレス鋼
根管治療用ホルダー
チャック
- ・シリコーンゴム
Oリング（根管治療用ホルダー）

形状



** 【使用目的又は効果】

使用目的

本製品は歯科医師が歯科治療において、患者の歯面などに付着した歯石および歯垢の除去、根管の拡大形成を行うために使用する。
本付属品は歯科医師が歯科治療において、患者の根管の拡大形成を行うために使用する。

【使用方法等】

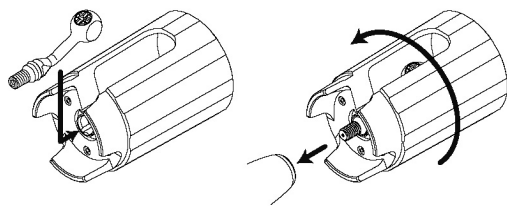
適応機種

** エアーキッツ（認証番号：21600BZZ00292000）

使用方法

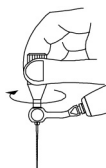
1. 根管治療用ホルダーの取り付け

1. 根管治療用ホルダーおよび適応機種付属の専用レンチが滅菌されていることを確認する。
2. 適応機種本体にユニットのタービンホースが接続されていないことを確認する。接続されている場合は本体を取り外す。
3. 根管治療用ホルダーを専用レンチに取り付ける。
4. 専用レンチに取り付けた根管治療用ホルダーを本体（カートリッジ）のネジ部にあわせて図の方向に回し、締め付ける。この時あまり強く締め付けすぎないこと。



2. U ファイル用インスツルメントの取り付け

1. U ファイル用チャックを根管治療用ホルダーに取り付ける。
2. U ファイル用インスツルメントを U ファイル用チャックに挿入し、チャック用レンチで図のようにチャックを回し締め付ける。（シャンク径φ0.8mm のインスツルメントのみ使用可能）

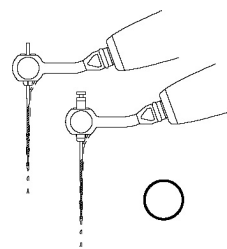


3. エンジン用インスツルメントの取り付け

1. 根管治療用ホルダーにエンジン用チャックを取り付ける。
2. エンジン用インスツルメントをエンジン用チャックに挿入し、チャック用レンチによって固定する。（メタルシャンクのインスツルメントのみ使用可能）

4. ユニットへの接続・調整

1. 適応機種付属の取扱説明書に従って適応機種本体をユニットに接続する。
2. 適応機種付属の取扱説明書に従ってパワーおよび水量の調整を行う。インスツルメントによって振動幅および洗浄力が異なるので、最初にパワーを最小の状態にしてから徐々にパワーを上げ、インスツルメントの先端部が振れ過ぎないように、図を参考にして適正な調整を行うこと。

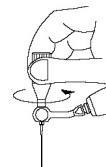


5. 根管治療用ホルダーの使用

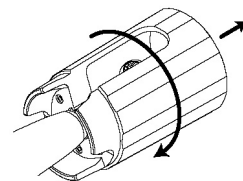
1. 適応機種本体に取り付けた根管治療用ホルダーにファイルを取り付ける。
2. 根管内にファイルを挿入後、適応機種本体を作動させてファイルをゆっくりと上下させて、根管を洗浄する。

6. 使用後の処置

1. チャック用レンチを用いて、チャックを図のように回して緩め、インスツルメントを取り外す。



2. 適応機種付属の専用レンチを用いて根管治療用ホルダーを図の方向に回し、取り外す。



使用方法等に関連する使用上の注意

1. 適応機種以外の製品に取り付けて使用しないこと。
2. 本製品には専用品以外のレンチは使用しないこと。
3. 根管治療用ホルダーの装着は、適応機種付属の専用レンチによって確実に取り付けすること。また、インスツルメントの装着は、付属の専用レンチによって確実に取り付けすること。
4. インスツルメントの脱落・破損による誤嚥などを防止するために、ラバーダム防湿法や治療中は患者に鼻呼吸をさせるといった対策を行うこと。
5. 曲がりや傷のあるインスツルメントを使用しないこと。
6. 使用するインスツルメントの種類や消耗の程度、パワー調整など使用環境によっては作動音の発生や、インスツルメントの振動が通常より大きくなる場合がある。
7. 手用インスツルメントなどとは異なる点があるので抜去歯などで十分テストをしてから使用すること。また、細いインスツルメントは破損の原因となりやすいので特に注意すること。

8. 湾曲根管の場合ファイルを一度根管内に挿入し、スムーズに入ることを確認してから洗浄すること。
9. インストルメントの使用は 1 本につき 1 根管とすること。
10. 根管治療用ホルダーを使用する時には、必ずそれらにあったインストルメントとそのシャンク径にあったチャックをセットで使用する。
11. インストルメント破損を防止するために、[4. ユニットへの接続・調整]に従い適正なパワー調整を行うこと。

【使用上の注意】

その他の注意

- ** 1. 使用前にアルコール清拭およびオートクレーブ滅菌を行うこと。
2. 根管治療用ホルダーおよびチャックはあまり強く締め過ぎないように注意すること。
3. インストルメントを挿入していない状態では絶対にチャックを締め付けないこと。
4. インストルメントは、シャンク部の長さが 5mm 以上あるものを使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

保管条件については次の事項に注意すること。

1. 周囲の温度が-10～60℃であること。
2. 周囲の湿度が 10～85%であること。
3. 周囲の気圧が 500～1,060hPa であること。
4. 根管治療用ホルダー、チャック、チャック用レンチは十分に乾燥させて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

1. 滅菌は患者ごとに必ず行うこと。
2. 根管治療用ホルダーの洗浄には超音波洗浄器を使用しないこと。
3. チャックは必ず使用後取り外し、スリーウェイシリンジなどのエアによって乾燥させること。
- ** 4. 最高滅菌温度は摂氏 135 度のため、オートクレーブ滅菌器の設定は摂氏 121 度で 20 分、または摂氏 132 度で 15 分とすること。
5. 薬品が付着している器具とは一緒に滅菌器にかけないこと。
6. 消毒液の中に根管治療用ホルダーをそのままつけないこと。
7. 消毒の際には、アルカリ性の消毒剤および酸化電位水（強酸性水、超酸性水）を使用しないこと。
8. 乾熱滅菌など、指定の最高滅菌温度を超える滅菌は高温のため、避けること。
9. 滅菌器の状態や滅菌方法によっては、本製品が変色する場合がある。
10. 滅菌終了後、根管治療用ホルダー、チャック、チャック用レンチを十分乾燥させること。

【取扱説明書の有無】

本製品には「使用説明書」は付属していない。詳細については、適応機種付属の使用説明書を参照し、その内容に従うこと。

使用説明書＝取扱説明書である。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* 発売元

株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷 3 丁目 2 番 14 号
お客様窓口 TEL 0120-416480

製造販売元

株式会社ミクロン
〒146-0082 東京都大田区池上 2 丁目 17 番 7 号
TEL 03-3755-0396 (代)

製造元

株式会社ミクロン